

生成AIに係る情報処理基盤産業振興事業

商務情報政策局情報産業課
ソフトウェア・情報サービス戦略室

令和6年度概算要求額 3.7億円（新規）

事業の内容

事業目的

生成AIのインパクトは極めて大きく、その社会実装を進めることで、今後の経済・社会・国民生活を飛躍的に高度化させられる可能性がある。

リスクも十分に勘案した普及や革新的なサービス等の創出を実現するためには、基盤モデルの構造等を理解することが必要であり、国内で基盤モデルの開発に取り組むことやその開発環境としての計算資源の高度化を図っていくことを通じて、生成AIに関する産業基盤を確保し、様々な産業分野において、生成AIを活用したサービス等の創出を促進していくことが重要。

本事業では、生成AIに関する産業基盤確保と当該分野における競争力強化を通じて、経済・社会・国民生活を飛躍的に高度化させていくことを目的とする。

事業概要

実施者を段階的に絞り込み、グローバル市場にも競争力のある基盤モデル開発企業のみが継続支援対象となるような、生成AIに係る基盤モデル開発のための支援。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

2024年から2026年までの3年間の事業であり、短期的には、特定分野における基盤モデルの開発及び事業化を目指す。
最終的には、本事業に関連する事業における売上高で予算額を上回ることを通じて、生成AIに関する産業基盤確保を目指す。